

第5回 貝塚市立義務教育学校開校準備委員会 議事要旨

- 日 時 令和4年11月18日(金) 19時～20時40分
- 場 所 二色小学校 ランチルーム
- 出席者 宮瀧委員(会長)、成川委員(副会長)、八野委員、三野委員、出合委員、佐藤委員、浅井委員、貴志委員、檜崎委員、秦委員、その他事務局職員

■ 会議概要

1. 研修「第五中学校区の特長を生かした義務教育学校づくり」について

前大阪人間科学大学学長であり、日本教育会大阪支部支部長の田中 保和先生を講師にお招きし、ご講義いただきました。研修の中で田中先生が、義務教育学校づくりにおいて大切にすべきことは、子どもたちと保護者の意見をできるだけ反映させるとともに、新しい方針や仕組みに対する不安を払拭し、ワクワクしてもらうような仕組みを作ることであると話されました。

2. 議 事

(1) 義務教育学校に関するアンケート実施要項について

- 事務局が、12月に実施する予定の制服、体操服及び給食に関するアンケートの事務局案について説明しました。

今回のアンケートは、学校生活に直接関わる内容であるため、対象を児童生徒、教員及び保護者とし、未就学児の保護者へは郵送、それ以外へは学校から配付することとします。

期間は12/6(火)～22(木)まで、回答方法はアンケート用紙を郵送、FAXまたは持参するか、電子により回答フォームに入力し送信するかのいずれかとします。

制服については、現在の制服の価格を参考例としてあげるなど説明を加えました。

また、給食については、現在中学校で提供しているデリバリー方式の給食について、小学生や小学生以下の子どもの保護者がイメージがわからないと思われることから、写真を添付することとし、参考に現在の小中学校の給食費も記載しました。

さらに、市内他校の小学生の制服の値段や、制服を新しいデザインにすることが日程的に可能か否かなどについて、制服メーカーに問い合わせた結果についても説明しました。

- 義務教育学校に関するアンケートについて、委員から次のような意見がありました。

【制服の項目について】

- ・ 児童生徒、教員が1人1票、保護者が1世帯1票持つという案であるが、制服はどれを選ぶかで家庭の支出に大きく関わってくる。児童生徒の票の比重が大きすぎるのではないか。
- ・ 学校名を決めるアンケートは、すべての属性(児童生徒、教員、保護者)で二色

学園が1位だったが、今回もそうなるとは限らない。保護者の意見と児童生徒の意見が合わなかった場合、対応が難しい。

- ・ 制服はどれを選ぶかで金額が大きく異なるが、単純に子どもたちがどうしたいかも知りたい。
- ・ 子どもの意見を先に聞いて、子どもの意見を踏まえた上で、世帯で相談して決めてほしいと思う。ところで、制服はもっと安くできないものか。
- ・ 制服は、様々なサイズを作らなくてはいけない。高くなるのもわかる。
- ・ 中学校で私服の学校はあるのか？⇒私学はある。公立は少ない。

⇒ 1世帯1票に変更します。ただし、世帯に配付する前に、児童生徒を対象としたアンケートを実施し、その結果を世帯に配付するアンケートに添付することにより、保護者に子どもたちの意見を知ってもらうこととします。

アンケートに、女子の制服もズボンを選ぶことが可能であることを追記します。

【給食の項目について】

- ・ 給食は食育に関わるものであるため、できれば9学年を通して同じものを食べてほしい。
- ・ 後期課程がデリバリー方式から自校給食に変えた場合の給食費を「未定」としているが、いまの給食費と比べてどうなのか書いた方が選びやすい。

⇒ 給食費の目安を記載します。

【学年の呼び方について】

- ・ 9年間を見通した教育活動を行うという義務教育学校の趣旨を考えると、小中学校の概念を取り払った1年から9年という呼び方にしたほうがよいとの考えとともに、義務教育学校の教育活動に深く関わってくるため項目であるため、学校が決定するものとし、今回のアンケートの対象外とすることになりました。

(2) 校歌歌詞及び校章デザイン募集要項について

- 事務局が、12月末から実施する校歌歌詞・校章デザインの募集要項について説明しました。

校歌は歌詞全体または歌詞の中に入れてたい言葉やフレーズを募集します。応募作品の中から委員会でピックアップし、第五中学校区の住民を対象にアンケートを実施することとし、全体の作詞・作曲は、有識者にお願いする予定です。

校章はデザイン画を募集します。手書き・データどちらも可とし、応募作品の中から委員会でいくつかピックアップし、第五中学校区の住民を対象にアンケートを実施します。仕上げのデザインは、必要に応じて有識者にお願いする予定です。

応募資格は、貝塚市在住の方または市外在住で貝塚市にゆかりのある方とします。募集要項は、1月広報（12/26配付）とともに五中校区に全戸配付するとともに、第五中学校区以外の方にもご覧いただけるよう、1月広報及びホームページに掲載します。

また、校歌または校章のいずれか一方だけでも応募できることとします。

- 校歌歌詞及び校章デザイン募集要項について、委員から次のような意見がありました。

【校歌】

- ・ 歌詞全体を応募するのは困難では？校歌に入れたいフレーズを募集して、委員会でいくつか選出し、これをもとに有識者に仕上げてもらってはどうか？
またその場合、ひとつ選ぶわけではないので、アンケートは不要か？
 - ・ 地域の誇れることや二色の子どもたちへの思いなどを書いてもらいたい。
- ⇒ 応募作品の中から、委員会で校歌に入れるフレーズをいくつかピックアップし、それらをつなげて校歌を作り上げるイメージなので、住民アンケートの対象外とすることとしました。

【校章】

- ・ 元々データ化されているものと、手書きのものが混在するアンケートになるが、それでいいと思う。
- (3) その他
- ・ 事務局から、前回指摘のあった市内の町会への周知について、12月の町会連合会幹事会で、義務教育学校の設置について説明し、周知することを報告しました。
 - ・ 次回会議は令和5年1月26日(木)19時からに決定しました。